10th Anniversary

大日本住友製薬

2015年度（平成28年3月期）
第3四半期連結業績概要

大日本住友製薬株式会社
2016年1月27日

2015年度第3四半期　経営成績

金額単位：億円

	2014年度 3Q実績	2015年度 3Q実績	前年同期比 増減額	うち 為替差	増減率（%）	2015年度 10/28 公表予想	進捗率（%）
売上高	2,791	**3,045**	254	185	9.1	4,010	75.9
売上原価	751	**791**	40	18	5.3	1,035	76.4
売上総利益	2,040	**2,255**	214	167	10.5	2,975	75.8
販売費及び一般管理費	1,812	**1,944**	132	150	7.3	2,685	72.4
販売費・一般管理費	1,300	**1,354**	54	105	4.1	1,790	75.7
研究開発費	512	**590**	78	46	15.2	895	65.9
営業利益	228	**311**	83	16	36.2	290	107.2
経常利益	225	**311**	86		38.3	285	109.2
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	190	**233**	44		22.9	200	116.7
EBITDA	373	**466**	92			493	

【為替レート】

2014年度3Q実績：　1$ =106.7円　　1元=17.3円

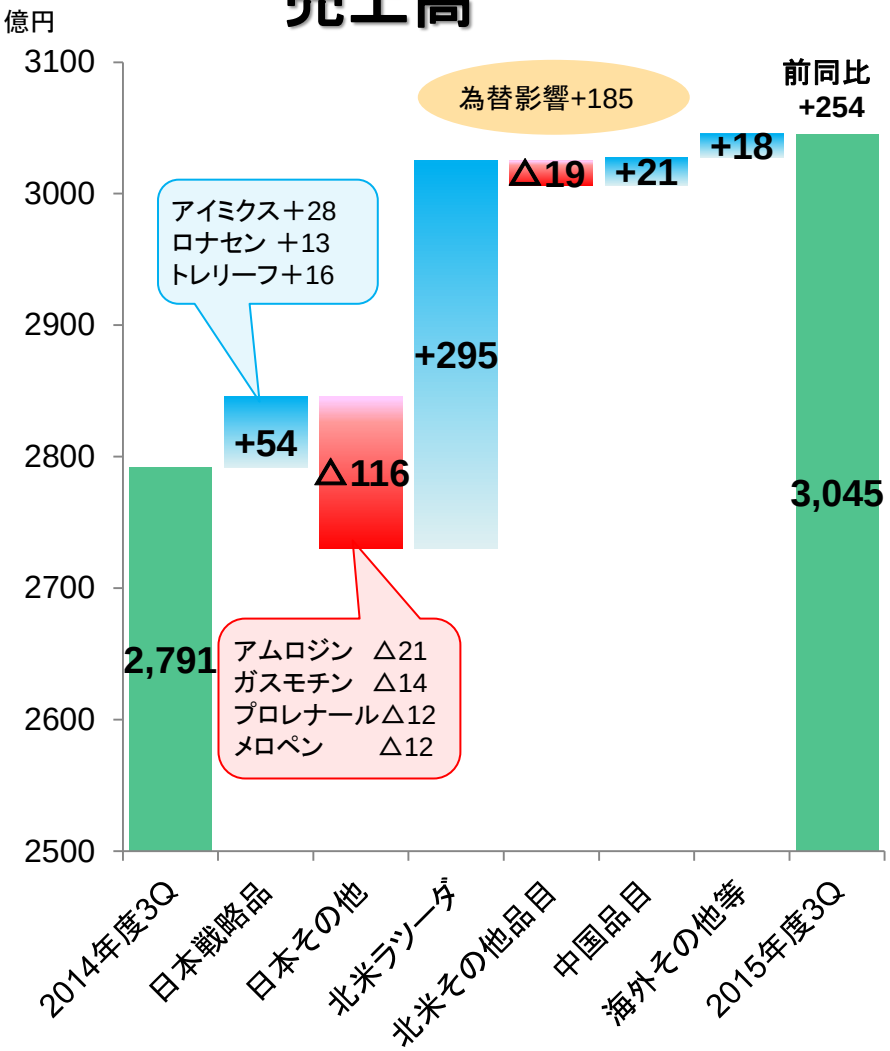
2015年度3Q実績：　1$ =121.8円　　1元=19.3円

2015年度予想：　　1$= 120.0円　　1元=19.0円

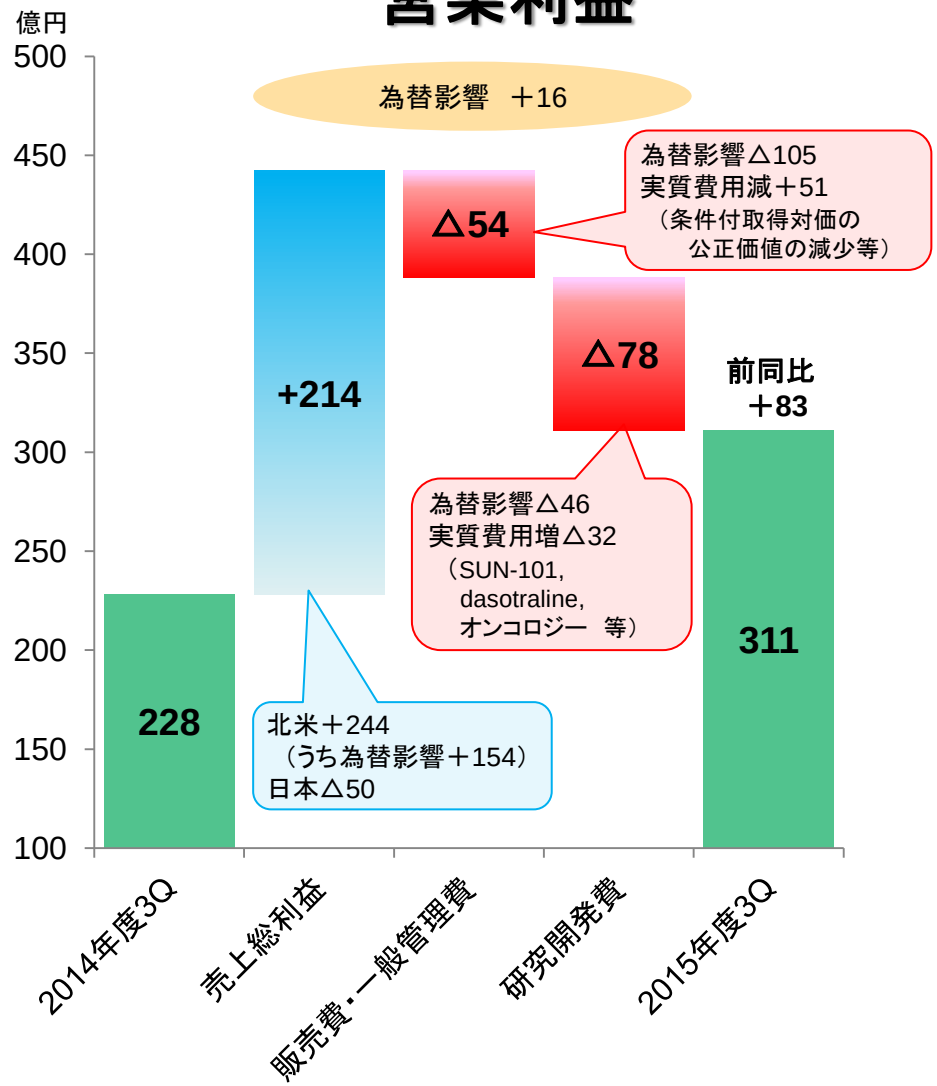
2015年度3Q

対前年同期増減

売上高



営業利益



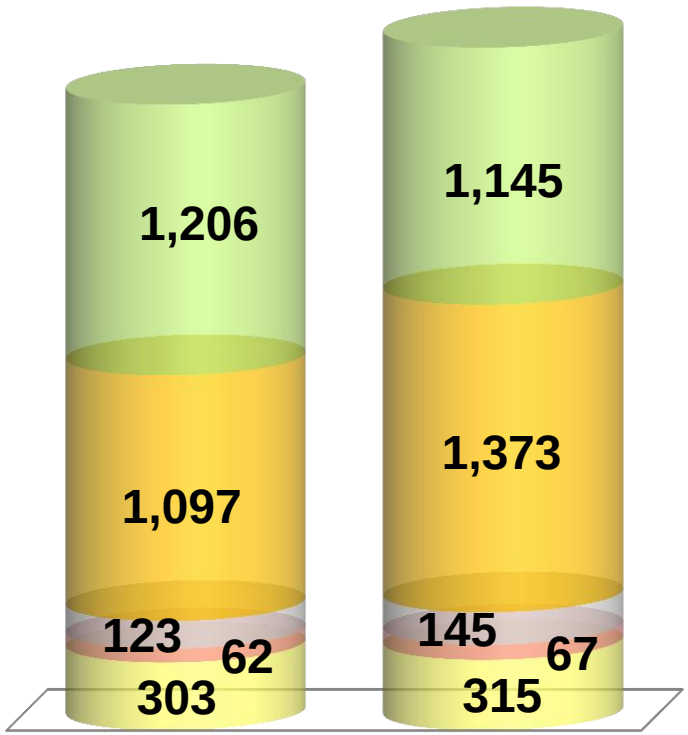
【為替レート】
2014年度3Q実績： 1$ = 106.7円 1元= 17.3円
2015年度3Q実績： 1$ = 121.8円 1元= 19.3円

大日本住友製薬

2015年度3Q

セグメント別　売上高

金額単位：億円



	2014年度3Q	2015年度3Q
海外売上比率	46.1%	52.2%

【為替レート】
2014年度3Q実績：　1$ = 106.7円　　1元=17.3円
2015年度3Q実績：　1$ = 121.8円　　1元=19.3円

	前同比増減額	前同比増減率	通期予想達成率
	254	9.1 %	75.9%
日本	△61	△5.1 %	76.6 %
北米	276	25.2 %	75.2 %
中国	21	17.4 %	81.2 %
海外その他	5	8.6 %	71.6 %
その他	12	4.1 %	75.4 %

【日本】 長期収載品等の減少が戦略品の伸びを上回り　減収

【北米】 ラツーダ、ブロバナ、アプティオムの伸長と円安により 増収

【中国】 メロペンの増加と円安により増収

2015年度3Q

主要製品売上高（日本セグメント）

金額単位：億円

	2014年度 3Q実績	2015年度 3Q実績	前年同期比		2015年度	
			増減額	増減率（%）	予想	進捗率（%）
アイミクス	91	**119**	28	30.6	152	78.4
アバプロ	87	**84**	△2	△2.6	108	78.2
ロナセン	85	**98**	13	14.7	130	75.3
トレリーフ	85	**101**	16	19.1	140	72.4
戦略品　計	348	**403**	54	15.6	530	76.0
シュアポスト	17	**27**	10	57.3	37	72.1
アムビゾーム	34	**33**	△1	△2.0	43	76.9
リプレガル	75	**79**	3	4.3	105	74.8
メトグルコ	127	**120**	△7	△5.7	140	85.8
アムロジン	150	**129**	△21	△13.9	161	80.3
ガスモチン	81	**67**	△14	△17.3	83	80.5
プロレナール	82	**69**	△12	△14.8	91	76.3
メロペン	62	**50**	△12	△19.1	65	76.8
その他	231	**168**	△62	△27.0	239	70.5
その他の品目計	858	**742**	△116	△13.5	964	77.0
合計	1,206	**1,145**	△61	△5.1	1,494	76.6

（注）日本セグメントの品目別の売上高は、リベート控除前で記載

2015年度3Q　主要製品売上高（北米・中国セグメント）

	2014年度 3Q実績	2015年度 3Q実績	前年 同期比 増減額	2014年度 3Q実績	2015年度 3Q実績	前年同期比		2015 年度		
						増減額	うち 為替差	予想		円ベース 進捗率
北米セグメント	（百万ドル）			（億円）				（百万ドル）	（億円）	（%）
ラツーダ	555	**729**	174	593	**888**	295	110	1,000	1,200	74.0
アプティオム	15	**44**	30	16	**54**	38	7	64	77	70.1
ブロバナ	146	**182**	36	156	**222**	65	27	244	293	75.6
シクレソニド	51	**46**	△5	54	**56**	2	7	57	69	80.9
ゾペネックス	64	**42**	△22	68	**51**	△17	6	54	65	79.2
ルネスタ	90	**30**	△60	96	**36**	△60	4	35	42	86.1
その他	107	**54**	△53	114	**66**	△48	8	68	80	82.9
合　計	1,028	**1,128**	100	1,097	**1,373**	276	169	1,522	1,826	75.2
中国セグメント	（百万元）			（億円）				（百万元）	（億円）	（%）
メロペン	591	**632**	41	102	**122**	20	13	783	149	81.7
その他	122	**118**	△4	21	**23**	2	2	154	29	78.7
合　計	713	**750**	37	123	**145**	21	15	937	178	81.2

【為替レート】
2014年度3Q実績：　1$ =106.7円　　1元= 17.3円
2015年度3Q実績：　1$= 121.8円　　1元= 19.3円
2015年度予想：　　1$= 120.0円　　1元= 19.0円

大日本住友製薬

2015年度3Q

セグメント別　経営成績

金額単位：億円

		医薬品事業					その他	連結
		日本	北米	中国	海外その他	合計		
2015年度3Q実績	売上高（外部顧客向け）	1,145	1,373	145	67	2,730	315	3,045
	売上原価	350	123	26	38	537	253	791
	売上総利益	795	1,250	118	30	2,193	61	2,255
	販売費・一般管理費	441	786	62	19	1,307	47	1,354
	セグメント利益	354	464	57	11	886	14	900
	研究開発費					583	6	590
	営業利益					303	8	311
2014年度3Q実績	売上高（外部顧客向け）	1,206	1,097	123	62	2,489	303	2,791
	売上原価	363	91	21	37	512	239	751
	売上総利益	845	1,006	102	25	1,978	62	2,040
	販売費・一般管理費	437	742	57	18	1,254	46	1,300
	セグメント利益	408	264	45	7	724	17	740
	研究開発費					506	6	512
	営業利益					218	10	228
増減額	売上高（外部顧客向け）	△61	276	21	5	241	12	254
	販売費・一般管理費	4	44	5	1	53	1	54
	セグメント利益	△53	200	12	3	163	△2	160
	研究開発費					78	△0	78
	営業利益					85	△2	83

【為替レート】
2014年度3Q実績：　1$ = 106.7円　　1元= 17.3円
2015年度3Q実績：　1$ = 121.8円　　1元= 19.3円

大日本住友製薬

2015年度3Q 経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益

金額単位：億円

	2014年度 3Q実績	2015年度 3Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率（%）
営業利益	228	**311**	83	36.2
営業外損益	△3	**0**	4	
経常利益	225	**311**	86	38.3
特別利益	177	**61**	△116	
投資有価証券売却益	―	**61**		
固定資産売却益	160	**―**		
受取損害賠償金	17	**―**		
特別損失	59	**3**	△57	
減損損失	51	**3**		
事業構造改善費用	8	**―**		
法人税等	153	**136**	△17	
親会社株主に帰属する四半期純利益	190	**233**	44	22.9

大日本住友製薬

2015年度業績予想

金額単位:億円

	2014年度実績	2015年従来予想	2015年度修正予想	従来予想増減額	前期比 増減額	うち為替差	増減率(%)
売上高	3,714	4,010	**4,030**	20	316	172	8.5
売上原価	1,012	1,035	**1,045**	10	33	14	3.2
売上総利益	2,701	2,975	**2,985**	10	284	158	10.5
販売費及び一般管理費	2,469	2,685	**2,655**	△30	186	138	7.5
販売費・一般管理費	1,756	1,790	**1,790**	―	34	96	2.0
研究開発費	713	895	**865**	△30	152	42	21.3
営業利益	233	290	**330**	40	97	20	41.8
経常利益	233	285	**325**	40	92		39.3
親会社株主に帰属する当期純利益	154	200	**230**	30	76		48.9
EBITDA	431	493	**533**	40	102		23.7

【為替レート】
2014年度実績： 1$ = 109.8円　1元= 17.7円
2015年度予想： 1$ = 120.0円　1元= 19.0円

大日本住友製薬

臨床開発の現況①（2016年1月27日現在）

精神神経領域

製品／コード名	一般名	予定適応症等	国／地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請中
アプティオム（SEP-0002093）	eslicarbazepine acetate	（新効能）てんかん（単剤）	カナダ				
ロナセン	ブロナンセリン	統合失調症	中国				
		（小児用量）統合失調症	日本				
		（新剤形：経皮吸収型製剤）統合失調症	日本				
ラツーダ（SM-13496）	ルラシドン塩酸塩	統合失調症	中国				
		統合失調症	日本※1				
		双極Ⅰ型障害うつ・双極性障害メンテナンス	日本				
AS-3201	ラニレスタット	糖尿病合併症	日本				
EPI-743	バチキノン	リー脳症	日本				※2
SEP-225289	dasotraline	成人注意欠如・多動症（ADHD）	米国				
		小児注意欠如・多動症（ADHD）	米国				※3
		過食性障害（BED）	米国				※3
トレリーフ	ゾニサミド	（新効能）レビー小体型認知症（DLB）に伴うパーキンソニズム	日本				
SB623	未定	慢性期脳梗塞	米国				
EPI-589	未定	パーキンソン病	米国				
		筋萎縮性側索硬化症（ALS）	米国				
DSP-2230	未定	神経障害性疼痛	英国・米国				
SEP-363856	未定	統合失調症	米国				
DSP-3748	未定	統合失調症に伴う認知機能障害	米国				

※1　新規第Ⅲ相試験準備中
※2　第Ⅱ/Ⅲ相試験終了、今後の開発方針について検討中
※3　第Ⅱ/Ⅲ相試験

今回変更部分は赤字で示しています

臨床開発の現況②（2016年1月27日現在）

がん領域（napabucasinおよびBBI503）

製品／コード名	一般名	予定適応症等	国／地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請中
BBI608	napabucasin	結腸直腸がん（単剤）（国際共同治験）	米国・カナダ・日本等	新規患者登録の中止			
		胃または食道胃接合部腺がん（併用）（国際共同治験）	米国・カナダ・日本等				
		結腸直腸がん（併用）（国際共同治験）	米国				
		結腸直腸がん（併用）	米国・カナダ				
		固形がん（卵巣がん、乳がん、非小細胞肺がん、メラノーマ等）（併用）	米国・カナダ			※1	
		悪性胸膜中皮腫（併用）	日本			※1	
		固形がん（併用）※3 血液がん（単剤／併用）	米国・カナダ				
		固形がん（併用）　※4	日本				
BBI503	未定	固形がん（結腸直腸がん、頭頸部がん、卵巣がん等）（単剤）	米国・カナダ			※1	
		固形がん（腎細胞がん、尿路上皮がん、肝細胞がん、胆管がん、消化管間質腫瘍）（単剤）	カナダ				
		卵巣がん（単剤）	米国				
		肝細胞がん（併用）	米国		※2		
		固形がん（併用）	米国・カナダ				
		固形がん（単剤）、肝細胞がん（併用）	日本				
BBI608+BBI503	―	固形がん（併用）	米国				

※1　第Ⅰ/Ⅱ相の第Ⅱ相段階
※2　第Ⅰ/Ⅱ相の第Ⅰ相段階
※3　種々のがん種で複数の試験を実施
（消化器がん、肝細胞がん、膠芽腫、膵がん）
※4　種々のがん種で複数の試験を実施
（肝細胞がん、結腸直腸がん）

大日本住友製薬

今回変更部分は赤字で示しています

臨床開発の現況③（2016年1月27日現在）

がん領域（napabucasinおよびBBI503除く）

製品／コード名	一般名	予定適応症等	国／地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請中
カルセド（国内販売名）	アムルビシン塩酸塩	小細胞肺がん	中国				
DSP-7888	未定	骨髄異形成症候群	日本			※1	
		固形がん、血液がん	米国				
WT4869	未定	骨髄異形成症候群	日本		※2		
		固形がん	日本				
WT2725	未定	固形がん、血液がん	米国				
		固形がん	日本				

※1　第Ⅰ/Ⅱ相の第Ⅱ相段階
※2　第Ⅰ/Ⅱ相の第Ⅰ相段階

呼吸器領域

製品／コード名	一般名	予定適応症等	国／地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請中
SUN-101	グリコピロニウム臭化物	慢性閉塞性肺疾患（COPD）	米国				

その他の領域

製品／コード名	一般名	予定適応症等	国／地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請中
DSP-1747	obeticholic acid	非アルコール性脂肪肝炎（NASH）	日本				
DSP-6952	未定	便秘型IBS、慢性便秘	日本				

大日本住友製薬

今回変更部分は赤字で示しています

臨床開発の進捗状況 （2015年10月28日からの主な変更点）

ラツーダ

- 中国で統合失調症の申請（2015年12月）

Napabucasin（BBI608）

- 米国で結腸直腸がん（FOLFIRIまたはFOLFIRIおよびベバシズマブとの併用）の第Ⅲ相国際共同治験を開始
- 国内で結腸直腸がん（FOLFIRIおよびベバシズマブとの併用）の第Ⅰ相試験を開始

DSP-7888

- 国内で骨髄異形成症候群の第Ⅰ／Ⅱ相試験の第Ⅱ相段階を開始

試験終了

- ラツーダ

  双極性障害メンテナンス：第Ⅲ相試験終了（米国・欧州等）のため削除

Napabucasin　学会発表
消化器癌シンポジウム（ASCO-GI 2016、米国）

- 2016年1月、消化器癌シンポジウムで以下の3演題を発表

✓ **結腸直腸がん（FOLFIRIまたはFOLFIRIおよびベバシズマブとの併用）の第Ⅰ相試験（BBI608-246）**

✓ **膵がん（ゲムシタビンおよびナブパクリタキセルとの併用）の第Ⅰ相試験（BBI608-118）**

✓ **膵がん（パクリタキセルとの併用）の第Ⅰ／Ⅱ相試験（BBI608-201）**

Napabucasin　学会発表
消化器癌シンポジウム（ASCO-GI 2016、米国）

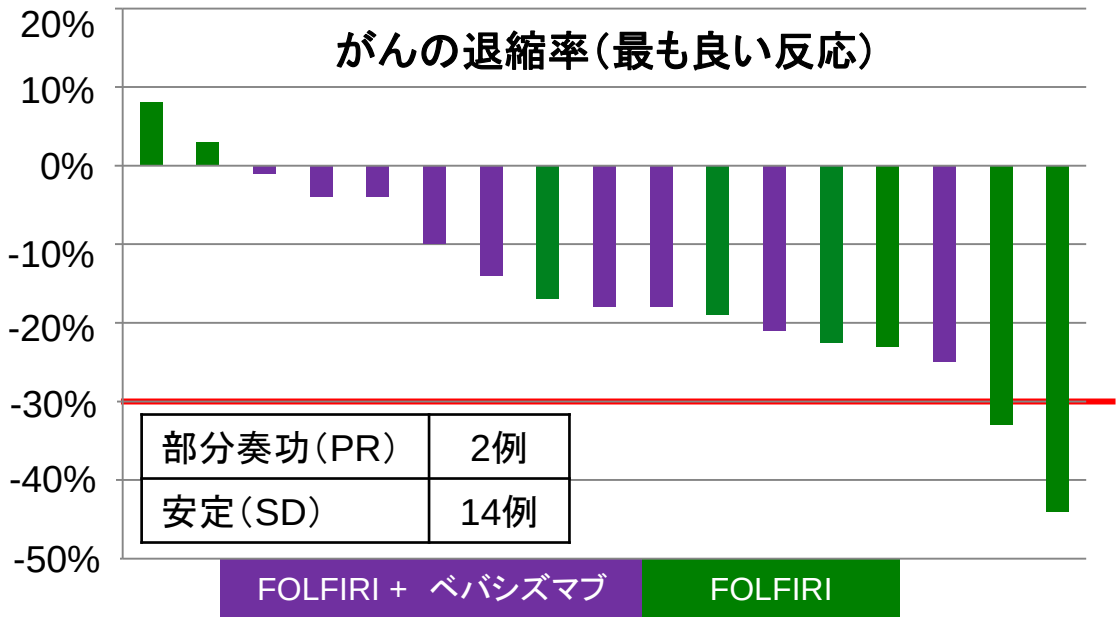
結腸直腸がん（FOLFIRIまたはFOLFIRIおよびベバシズマブとの併用）の第Ⅰ相試験（BBI608-246）

- **試験デザイン**
  オープンラベル、多施設
- **評価項目**
  安全性、忍容性、
  予備的な抗腫瘍効果（FOLFIRIまたはFOLFIRIおよびベバシズマブとの併用時）

* FOLFIRI（フルオロウラシル、ロイコボリン、イリノテカンの併用）

- **抗腫瘍効果結果（結腸直腸がん患者17例）**

病勢コントロール率（DCR）	94%　（16例）



Hubbard JM, et al. *J Clin Oncol 34, 2016,* ASCO-GI 2016 (Abstract 569)

本試験において、抗腫瘍活性の兆候が示唆され、用量制限毒性および新たな有害事象は観察されなかった。

参考資料

NapabucasinおよびBBI503　開発進捗状況①

Napabucasinの開発進捗状況

開発段階	開発地域	予定適応症	併用薬	試験名	試験開始
第Ⅲ相	米国・カナダ・日本等	胃または食道胃接合部腺がん（併用）	パクリタキセル	BBI608-336 (BRIGHTER)	2014年8月
第Ⅲ相	米国	結腸直腸がん（併用）	FOLFIRI*2またはFOLFIRI*2およびベバシズマブ	BB608-303CRC	未掲載
第Ⅱ相	米国・カナダ	結腸直腸がん（併用）	セツキシマブ、パニツムマブまたはカペシタビン	BBI608-224	2012年3月
第Ⅱ相	米国・カナダ	固形がん*1（併用）	パクリタキセル	BBI608-201	2011年4月
第Ⅱ相	日本	悪性胸膜中皮腫（併用）	シスプラチンおよびペメトレキセド	D8807005	2015年2月
第Ⅰ相	米国・カナダ	消化器がん（併用）	FOLFOX*2、FOLFOX*2+ベバシズマブ、CAPOX*2、FOLFIRI*2、FOLFIRI*2+ベバシズマブ、レゴラフェニブ、またはイリノテカン	BBI608-246	2014年1月
第Ⅰ相	米国	肝細胞がん（併用）	ソラフェニブ	BBIHCC-103	2014年12月
第Ⅰ相	米国	膵がん（併用）	ゲムシタビンおよびナブパクリタキセル、またはFOLFIRINOX*2	BBI608-118	2014年8月
第Ⅰ相	カナダ	膠芽腫（併用）	テモゾロミド	BBI608-251	2015年3月
第Ⅰ相	米国	血液がん（単剤／併用）	デキサメタゾン、ボルテゾミブ、イマチニブまたはイブルチニブ	BBI608-103HEME	2015年5月
第Ⅰ相	日本	肝細胞がん（併用）	ソラフェニブ	D8808001	2015年2月
第Ⅰ相	米国	固形がん（併用）	イピリムマブ、ペンブロリズマブまたはニボルマブ	BBI608-201CIT	2015年8月
第Ⅰ相	日本	結腸直腸がん（併用）	FOLFIRI*2およびベバシズマブ	D8809001	2015年12月

試験開始はClinical Trials.gov掲載内容（2016年1月26日付）

＊2015年10月からの変更部分は赤字で示しています

*1：卵巣がん、乳がん、非小細胞肺がん、メラノーマ等
*2：FOLFOX（フルオロウラシル、ロイコボリン、オキサリプラチンの併用）
CAPOX（カペシタビン、オキサリプラチンの併用）
FOLFIRI（フルオロウラシル、ロイコボリン、イリノテカンの併用）
FOLFIRINOX（フルオロウラシル、ロイコボリン、イリノテカン、オキサリプラチンの併用）

NapabucasinおよびBBI503　開発進捗状況②

BBI503の開発進捗状況

開発段階	開発地域	予定適応症	併用薬	試験名	試験開始
第Ⅱ相	米国・カナダ	固形がん*1（単剤）	ー	BBI503-101	2012年2月
第Ⅱ相	カナダ	腎細胞がん、尿路上皮がん（単剤）	ー	BBI503-205a	2016年7月
第Ⅱ相	カナダ	肝細胞がん、胆管がん（単剤）	ー	BBI503-205b	2015年2月
第Ⅱ相	カナダ	消化管間質腫瘍（単剤）	ー	BBI503-205c	2016年7月
第Ⅱ相	米国	卵巣がん（単剤）	ー	BBI503-205GYN-M	2015年6月
第Ⅰ相	米国	肝細胞がん（併用）	ソラフェニブ	BBIHCC-103	2014年12月
第Ⅰ相	日本	固形がん（単剤）、肝細胞がん（併用）	ソラフェニブ	DA101003	2015年3月
第Ⅰ相	米国・カナダ	固形がん（併用）	カペシタビン、ドキソルビシン、ニボルマブ、ペンブロリズマブ、パクリタキセルまたはスニチニブ	BBI503-201	2015 年9月

*1：結腸直腸がん、頭頸部がん、卵巣がん等

Napabucasin+BBI503の開発進捗状況

開発段階	開発地域	予定適応症	併用薬	試験名	試験開始
第Ⅰ相	米国	固形がん（併用）	ー	BBI401-101	2015年4月

試験開始はClinical Trials.gov掲載内容
（2016年1月26日付）

＊2015年10月から変更なし

大日本住友製薬

LATUDA®（ルラシドン） 開発進捗状況

日本・中国（自社）

適応症・予定適応症	開発地域	開発段階	申請予定
統合失調症	中国	申請中	―
統合失調症※1	日本	第Ⅲ相	2019年度
双極Ⅰ型障害うつ・双極性障害メンテナンス		第Ⅲ相	2019年度

※1　新規第Ⅲ相試験準備中

欧州（自社・提携）

- 武田薬品との共同開発・独占的販売契約が解消されることになり、権利返還等の具体的条件に関する協議を開始（2015年5月）⇒契約解消・権利返還（2016年1月31日付け）
- 今後の欧州展開
  - ✓ EU・スイスの販売権（MA）をサノビオン・ヨーロッパ（SPE）に移管（2016年2月予定）
  - ✓ MAの移管後、SPEが英国に加え、既発売国（スイス、オランダ、北欧）における販売を担う予定
  - ✓ 既発売国以外については、引き続き新たなパートナーとの提携を目指す

（参考）
契約対象国：　英国を除くEU26ヶ国およびスイス、ノルウェー、トルコ、ロシア
既発売国：　スイス、デンマーク、ノルウェー、オランダ、フィンランド　　申請国：　ロシア、トルコ

アジア、南米ほか（提携）

- 申請中：　台湾、タイ、香港、シンガポール、ベネズエラ、ブラジル
- 既発売国：　オーストラリア（豪州セルヴィエ社と販売提携）

2015年10月からの変更部分は赤字で示しています

主な後期開発品の申請目標 （2016年1月更新）

領域	開発品目	申請目標			
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
精神神経領域	SM-13496＜ルラシドン塩酸塩＞ （統合失調症） 中国	2015年12月 申請			
	AS-3201＜ラニレスタット＞ （糖尿病合併症） 日本		●		
	SEP-225289 ＜dasotraline＞ （成人・小児 注意欠如・多動症） 米国			●	
	ロナセン® ＜ブロナンセリン＞ （統合失調症／経皮吸収型製剤） 日本			●	
	トレリーフ® ＜ゾニサミド＞ （レビー小体型認知症に伴うパーキンソニズム） 日本			●	
	SEP-225289 ＜dasotraline＞ （過食性障害） 米国				●
がん領域	BBI608 ＜napabucasin＞ （胃または食道胃接合部腺がん／併用） 米国・日本			●	
	BBI503 （固形がん） 米国・日本				● 更新
呼吸器領域	SUN-101＜グリコピロニウム臭化物＞ （慢性閉塞性肺疾患） 米国		●		

＊2015年10月からの変更部分は赤字で示しています

新有効成分　適応症等追加

大日本住友製薬

製品上市計画 （2015年12月更新）

地域	2015年度（上市済）	2016年度	2017年度	2018年度	2019～2021年度	
国内	レミッチ（そう痒症（慢性肝疾患））（プロモーション提携） トルリシティ（GLP-1受容体作動薬）（販売提携）	※ EPI-743（リー脳症）	ラニレスタット（糖尿病合併症） napabucasin（胃または食道胃接合部腺がん）	ロナセン（統合失調症／経皮吸収製剤） トレリーフ（レビー小体型認知症に伴うパーキンソニズム）	ルラシドン（統合失調症／双極Ⅰ型障害うつ／双極性障害メンテナンス） napabucasin（結腸直腸がん等） BBI503（固形がん） DSP-7888（固形がん、血液がん）	DSP-1747（NASH） DSP-6952（便秘型IBS／慢性便秘） iPS細胞由来RPE細胞（加齢黄斑変性）
米国	アプティオム（てんかん／単剤）		napabucasin（胃または食道胃接合部腺がん） SUN-101（COPD）	dasotraline（ADHD）	SB623（慢性期脳梗塞） DSP-2230（神経障害性疼痛） SEP-363856（統合失調症） dasotraline（BED）	napabucasin（結腸直腸がん等） BBI503（固形がん） DSP-7888（固形がん、血液がん）
中国		ロナセン（統合失調症） カルセド（小細胞肺がん）		ルラシドン（統合失調症）		

:精神神経領域　:がん領域　:肝臓／消化器領域　:呼吸器領域

新有効成分　適応症等追加

※ 開発方針を検討中

＊2015年12月R&D説明会から変更なし

大日本住友製薬

再生・細胞医薬分野　事業化計画　（2015年12月更新）

	連携先	予定地域	細胞種	実用化に向けたスケジュール					
				2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
慢性期脳梗塞	サンバイオ	北米	他家MSC	第Ⅱb相試験			第Ⅲ相試験		承認目標
加齢黄斑変性	ヘリオス 理化学研究所	国内	他家iPS細胞	臨床研究		医師主導治験			承認目標
パーキンソン病	京都大学iPS細胞研究所（CiRA）	global	他家iPS細胞		臨床研究 または治験				
網膜色素変性	理化学研究所	global	他家iPS細胞				医師主導治験		
脊髄損傷	慶應義塾大学 大阪医療センター	global	他家iPS細胞				臨床研究（他家）		

＊2015年12月R&D説明会から変更なし

将来予測に関する注意事項

この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。

したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

大日本住友製薬

Innovation today, healthier tomorrows